



◀キッズ用、ジュニア用、大人用のクラブ

まずは、体験してみよう！ パークゴルフ 体験講習会を開催します



体験講習会では、パークゴルフについてのルールや打ち方などパークゴルフの「いろは」が学べます。無料で参加できますので、この機会に子どもから高齢者まで楽しめる、パークゴルフをぜひ体験してみてください。

日時：1月31日(日) 9時～12時(荒天中止)

場所：パークゴルフそうさ(旧吉崎浜野外活動施設)

対象：市内在住・在学・在勤の小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員：40人

申し込み：1月5日(火)～24日(日)に左記まで

※当日は、運動しやすい服装と、運動靴で参加してください。

申問 生涯学習課スポーツ振興班 ☎73・0097

木積を歩く

白山神社の額

匠 瑳 探 訪

176

豊栄地区木積集落に移住伝説があります。1339年、新田義貞の家臣16人が北陸地方での戦いに敗れた後、木積を安住の地とし、石川県の白山神社から分霊したのが木積の白山神社とされます。この言い伝えは『匝瑳郡誌』(大正10年・1921年刊行)に記載され、長く語り継がれてきました。

18日は「大根打ち」とあり、当番の家に集まった若者が午前9時から2組に分かれ大根を投げ合いました。

19日は「嫁祝い」といい、着飾った新婚夫婦と稚児を並べ笛や太鼓ではやし、たててユーモラスに祝いの笑いを誘



白山神社に奉納されている額

ました。

同社の拝殿に3枚の奉納額が掲げられ、1月18日から20日までの3日間、村内で行われた奇祭ともいえる行事の様子が描かれ、1847(弘化4)年出版の『下総名勝図絵』に、白山大権現の祭礼として紹介されています。

18日は「打ち板酒盛り」で、龍頭寺客殿で村内の16名字の家が並ぶいかめしい祭礼、と記されています。

額が奉納された年月は分かりませんが、浮世絵師菊川英信が描いたものとされています。英信は吉田村生まれで名を片岡安兵衛といい、若くして江戸に出て菊川英山の弟子として文化年間(1804～1818)活躍し、晩年は郷里で過ごしたと『八日市場市の沿革と人物』(昭和32年刊)に記載があります。

吉田地区の寺院境内墓地に村の有志が建てた英信のものと思われる墓があります。英信の「菊川一英」と刻まれ同一人物とまでは言いきれません。

額に描かれた「木積の大根投げ」は、明治の終わりまで続けられたと昭和40年代末に聞きました。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問 秘書課広報広聴班 ☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一 推薦

お焚き上げ無事を感謝し西光寺
身代わり札を納めて清し

高橋百合子

白々と夕映えの野辺に尾花揺れ
西方浄土も彼の世も似しか

鈴木 知子

週三日夫の遺影に留守頼み
瑞穂園のデイサービスへ

川口 登喜

日没の細き光のいと寒し
八十路を歩む冬の夕暮れ

江波戸友美

晩秋の紅葉前線里に下り
鎮守の銀杏ひときわ映える

川手 芳

戒名に娘の学びたる国の花
御前様より教え給う

内藤喜代美

待ち遠し月曜の朝の通学路
高校生の声の弾みぬ

鈴木 和子

川口城司 推薦

暖かき日が続きあて降霜の
未だ無きまま霜月の終ふ

小川 知至

青空にたわわの柿は緋の色の
琅玕の如く輝きを増す

伊橋 良子

中台の丘に茂れるつたの葉の
黄を濃くしつつ秋深みゆく

石田 秀子

飛行機の音して一瞬影過ぎる
新聞紙上戦争の記事

石田 治

俳句

高安せい子 推薦

鳥ごゑは光のつぶて障子貼る

大川 宣子

皇帝ダリアコロナの世界ぬきんてて
針仕事するうしろ影冬座敷

椿 和枝

三つ四つつかずはなれず返り花
近寄ればかへり花ありしレモンの木

安藤 建子

返り花行き交う人を元気づけ
孫曾孫はしゃぐ一日や冬座敷

椎名 晴江

川口城司 推薦

冬隣り野ネズミ残せし落花生
寒椿寒さに負けず赤い色

光瀬甲江子

川柳

勝又康之 推薦

年賀状書けないからと電話くる
達筆な恩師賀状に思い馳せ

佐久間美智子

米寿すぎ天国思い賀状書く
賀状用牛と一緒に撮る写真

岡田けい子

芋判か消しゴム印の年賀状
孫からの賀状一枚宝物

常世田やす子

アマビエの年賀状来て福となれ

江波戸京子

川口城司 推薦

マスク顔あの人どこ誰だっけ

奥野 道夫

力作募集中

宛先：匠瑤市秘書課広報広聴班 〒2289-2198 匠瑤市八日市場ハ793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…年始4日まで、毎週月曜日、12日(火)
●八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

“新しいこと”始めませんか

新年を迎えて、何か新しいことを始めたいけれど、何を始めたらいいかわからない…。そんなときは図書館においでください。各種スポーツ・園芸・手芸・料理・楽器演奏・俳句・写真撮影・マジック・DIYの他、図書館ではさまざまな趣味の本が充実しています。

図書館で興味のあることを見つけ、**“新しいこと”**を始めませんか。

図書館の資料は大切に

図書館の資料は**“みんなのもの”**

です。大切に扱いましょう。誤って壊してしまった本など、可能な修理は図書館で行いますので、申し出てください。汚損・破損・水濡れなどがひどく、貸し出しできない状態になったときや、紛失したときは、弁償していただきます。

また、次の利用者のために、返却期限を守りましょう。長期間延滞すると、新たな貸し出しができなくなります。資料を予約している人がいないときは、1回に限り貸出期間の延長ができます。図書館のカウンターやホームページ、電話にて延長の手続きをしてください。

おすすめの本

『芥川賞候補傑作選 平成編1』
鶴飼哲夫／編 春陽堂書店

第101回(平成元年)から第113回(平成7年)までの芥川賞候補になった作品の中から、これまで書籍化されたことのない作品や人気作家の初期作品など、9編を厳選して掲載しています。シリーズの「戦前・戦中編」もあわせてどうぞ。

『あるものでまかなう生活』
井出留美／著 日本経済新聞出版

「あるのにつくる・売る・買う」のはなぜか。あるもので賄う食や暮らし、働き方を、食品ロス問題の専門家である著者が教えます。無駄を無くした新しい暮らし方が分かる一冊です。